

かがら

SUMMER 2019

知識情報・図書館学類 / 情報メディア創成学類



目次

はじめに

今回、筑波大学に興味を持ち、更には足を運んでいただき、誠にありがとうございます。

この「かすがらいふ」はその名の通り、筑波大学春日エリアから名付けられたものです。春日エリアを拠点とする学類は、知識情報・図書館学類と情報メディア創成学類の2つのみです。他の学類と比較して情報が入手しにくい学類だといえるかもしれません。

しかしながら、知識情報・図書館学類も情報メディア創成学類も、ともにほかの学類に引けを取らない、素晴らしい学類だと思います。説明会や本誌から、その良さを少しでも感じていただければ幸いです。

本誌が受験生の皆様の大学選択、並びに大学進学のための支えになることを願っております。

2019年度 かすがらいふ編集長
(知識情報・図書館学類1年次)

略称について

筑波大学では、各学類でさまざまな略称が用いられていますが、

- 知識情報・図書館学類： 「klis」(ケーリス / Knowledge and Library Sciences)
「知識」「図情」
- 情報メディア創成学類： 「mast」(マスト / Media Arts, Science and Technology)
「メ創」「創成」

などと呼ばれることがあります。

本誌内では「klis」「mast」の表記を使用しております。ご注意ください。

1. 学類紹介 (学類長あいさつ)

- 知識情報・図書館学類 p. 3
- 情報メディア創成学類 p. 4

2. 授業紹介

- 情報学群共通科目 p. 5
- 知識情報・図書館学類 p. 7
- 情報メディア創成学類 p. 8

3. 主専攻紹介 (klis)

- 知識科学主専攻 p. 9
- 知識情報システム主専攻 p.10
- 情報資源経営主専攻 p.11

4. ゼミと卒業研究

p.12

5. 合格体験記

- 前期入試 (科目別) p.13
- 後期入試 p.19
- A C入試 p.21
- 推薦入試 p.23

6. 生活体験記

- 学生宿舎 p.25
- アパート p.26
- グローバルヴィレッジ p.27
- 自宅通学 p.28

7. 学校行事紹介

p.29

8. Q & A コーナー

p.33

9. 構内地図

1. 学類紹介

知識情報・図書館学類

学類長 歳森 敦

2年前に男子中学生のなりたい職業3位が「YouTuberなどの動画投稿者」であったことが話題になりました。ちなみに、その調査では、男子中学生のなりたい職業1位は「ITエンジニア・プログラマー」、2位「ゲームクリエイター」で、女子は1位「歌手・俳優・声優などの芸能人」、2位「絵を描く職業（漫画家・イラストレーター・アニメーター）」、3位「医師」と続き、「ゲームクリエイター」が7位、「YouTuberなどの動画投稿者」は10位だったそうです（ソニー生命調べ）。

この結果が話題になったのは、YouTuberが上位であったことが、世相を反映していたことと「大人の常識」に反していたことによるでしょう。情報学群の教員としては、むしろ「ITエンジニア・プログラマー」の1位がちょっとうれしく、気恥ずかしくもあります。男子の1位から3位までを広い意味でのIT系独占というのもすごいですね。それだけ、生活の中でスマートフォンやゲーム機に代表されるITが身近になっているということだと思います。ただ、私は、身近に感じるInformation Technologyや情報を学びたいと考える時に、もう少し広い視野を持って欲しいと感じました。言い換えると、情報について学ぶべきことはもっと多岐にわたっているということです。

例えば、知識情報・図書館学類ではYouTuberを養成してはいませんが、YouTubeに代表されるインターネット上の動画メディアによる映像コミュニケーションに関する専門科目があります。ゲームと直接の関係はありませんが、コンピュータに人間の意志を円滑に伝えるための理論や技術を学ぶこともできます。ソーシャルメディアの社会的な影響やその分析方法についての授業もあります。

最近、GAFA (Google–Amazon–Facebook–Apple) という言葉がよく使われるようになったことから判るように、巨大なプラットフォームを持ち、個人情報を集積・活用する企業の社会的影響力が大きくなったことが注目されています。生活の隅々にまで入り込んだ情報技術が、単に「便利なもの」である事に留まらず、個人の行動や生活を変え、ひいては社会そのものを変えてしまう時代が来ているのです。そのような社会では、情報産業に携わる人に限らない誰もが、絶え間なく進化していく情報技術をどのように使うのか、その中で取得・利用される情報の活用可能性や危険性がどうであるかを考えながら仕事をすることになります。コンピュータを使えるか、プログラミングできるかといった単純な問題ではありません。

知識情報・図書館学類では、情報や知識について哲学、社会学、文化人類学、法学、心理学などからの多様なアプローチで学ぶとともに、機械学習やAI、クラウドなど最新の情報技術についても学ぶことを通じて、社会における知識や情報の活用を推進できる人材を育成します。そうした人材はどのような産業でも必要とされており、学類や大学院でどのような専門性を育むかによって多様な職種に進むことができるでしょう。このような文理融合的な教育方針は図書館やアーカイブズをデジタル化できる人材養成を進める中で育んできたものですが、司書やアーキビストを目指すことも一つの選択肢です。みなさんの未来の可能性を大きく広げる学類です。

春日エリアで行われる講義は、ほとんどがklisかmastの開設です。今回はklisとmastの各学類長、歳森先生と河辺先生に学類の紹介をしていただきました。

情報メディア創成学類

学類長 河辺 徹

30年続いた「平成」という時代が終わり、「令和」という新しい時代が始まりました。情報メディア創成学類は、平成19年4月に第一期生を迎え、平成23年3月に最初の卒業生58名を送り出しました。それ以降、「平成」時代には、12期生まで530名を超える卒業生を送り出しています。干支と同じでちょうど12年で一つの時代の区切りを迎え、その意味では「令和」時代の幕開けとともに2周目に入ったように感じています。「令和」の英訳は、Beautiful Harmonyですが、その名の通りの美しく調和した2周目であってほしいと願っています。

さて、「情報メディア創成学類」という学類名称について、この学類が生まれた背景とも結びつけながらご紹介したいと思います。そもそも「情報」、「メディア」、「創成」ってそれぞれどういう意味なのでしょう？

それぞれいろんな解釈がありますが、まず「情報」とは、“ある場所から他の場所に伝えられる意味のある全ての信号の内容”です。この場合、「情報」は『伝達』『通信』からは切り離せないものになります。

次に「メディア」は、“情報の発信から受信までに関わった全てのもの”です。つまり、情報伝達を媒介する、“物体”、“装置”、“技術”、“システム”などあらゆるものが含まれます。なお、「メディア」から発信される情報の内容が“コンテンツ”です。そして「創成」ですが、“最初に具体的な形を作り出すこと”とです。“創生”（初めて生み出すこと）や“創世”（世界の初め）とは漢字も意味内容も違いますので注意が必要です。

ところで、本学類が創設された2007年以降の時代を振り返ってみると、スマートフォンや無線ネットワークなどが爆発的に普及し、それに伴ってSNS、動画生中継サービス、ネットゲームなど、ITを基盤とした新しい技術やサービスがすさまじい勢いで出現し発展してきました。デジタルネイティブ世代の皆さんにとっては、これらの機器やサービスは子供のころから当たり前慣れ親しんで当たり前を感じると思いますが、ITを基盤とした各種の様々な分野とそのサービスは現在でも凄まじい勢いで進歩しています。

「情報メディア創成学類」という名称には、このような歴史的な社会背景も踏まえ、次世代の新しいメディアやコンテンツに関する様々な情報技術や理論、システムなどを創り出していく人材を養成する学類にしたいという願いが、それぞれの言葉とともに込められています。それゆえ、実社会に役立つシステムやコンテンツを自ら創造／設計できる才能の養成を重視しています。授業以外での学生の自主的な活動も盛んで、その成果としてアプリやCGなどの各種コンテストへの参加や入賞、学会での成果発表などが積極的に行われるとともに、学類としてもこれらの活動を支援しています。（毎年、受賞・表彰：約10件、学会発表：約20件）

ぜひ、今回の大学説明会をはじめとして、今後の様々な機会に応じて、本学類の教員や学生に積極的に学類のことを聞いてみて下さい。学類のアイデンティティを最も体現しているのは学生ですが、特に、この「かすがらいふ」は情報メディア創成学類と知識情報・図書館学類の学生達自身が中心となって、毎年企画して作っているものです。作った学生達の想いや個性などがにじみ出ているので、内容だけでなくそれらも読み取ることで、両学類のアイデンティティについて感じてもらえればと思います。

最後に、我々、情報メディア創成学類の学生および教員と共に、学び、考え、悩んで切磋琢磨することで次世代を担う人材として成長したいという夢と希望と意欲に溢れる皆さんの参加を心よりお待ちしております。

2. 授業紹介

klis と mast、どちらの学類でもさまざまな授業が開設されています。
ここでは皆さんが主に一年次に取り組むであろう授業を紹介します。

2019 年度から、筑波大学の教育カリキュラムが大きく変わりました。

特に 1 年次から他学類の科目を履修することが可能となり、

情報学群内でも klis・mast・情報科学類 (coins) の

境界がなくなった科目も数多くあります。

ここでは情報学群全体として開く授業を中心に紹介しています。

また、知識情報・図書館学類と情報メディア創成学類

それぞれの特徴が大きく現れる授業も、

両学群別に後ろのページで紹介しています。

興味のある講義があるかもしれません。

ぜひ探してみてください！



情報社会と法制度

情報に関係のある法律として、著作権や肖像権が頭に浮かぶ人も多いかと思います。「情報社会と法制度」ではこれだけでなく、法学全般について学べる授業となっています。憲法や民法、刑法などの分野ごとに法律について学んでいきます。そしてこれらの法律的な観点から情報社会を考える視点を持つことが大きな目的です。

また、情報学群のカリキュラムとして法学に触れる機会は少なく、この授業は法学全体について触れる貴重な機会です。

大学生だからこそ、社会全般に関わる知識・教養を蓄えることが大切です。研究の道に進むにせよ、企業に就職をするにせよ、法律についての幅広い知識を身につけることは、将来必ず役に立つこととなります。ぜひこの授業を受けてみることをおすすめします。



情報数学 A

数学というと、数式をひたすら変形して答えを求めたり、複雑な図形について考えたりすることが想像されると思います。しかし数学は情報技術に関わる分野でも、論理演算などについての理解が重要となってきます。

イメージとしては、高校数学で学習した「集合と命題」の延長線上の分野だと思ってください。プログラムに認識させるための数学の知識を身につけていきます。また「行列」という、高校数学で学習した「ベクトル」の親戚みみたいな考え方も学習します。

情報数学 A で学ぶ内容は大学で履修する「線形代数」などにも結び付く重要な科目になっていて、文系、理系を問わず、klis・mast では履修すべき科目になっています。

情報学を学んでいく際に大事になる授業ですので、真剣に取り組むことをおすすめしたいです！数学頑張ろう！



プログラミング入門

教育カリキュラムの大幅な変更に合わせて、情報学群ではプログラミングの演習で扱う言語も変更されました。今までは「Ruby」という言語でプログラムを書いていたのですが、新しく「Python」という言語でプログラミング演習を行っています。

春日の学類生には、プログラミングを初めてやるという人もたくさんいます (特に klis に入った人で多いように思います)。授業がわからなくなったら諦めるのではなく、実際に書いた経験がある人や、バイトなどの研修でバリバリ書いたりしている人を捕まえて教えてもらうのがいいと思います。もしくは、春日ラーニングコモンズ (KLC) の先生やチューターさんに聞いてみることも方法のひとつです。

またプログラミング全般にいえることですが、基礎をおろそかにするとあとで泣きを見るので、頑張りましょう。実際に書いたプログラムをコンパイルして、うまく実行されたときに面白さを感じると思います！

```
504         if not hasattr(self, '
505             self._headers_buff
506         self._headers_buffer.a
507             (self.protocol
508                 'latin-1',
509
510 def send_header(self, keyword,
511     """Send a MIME header to t
512     if self.request_version !=
513         if not hasattr(self, '
514             self._headers_buff
515         self._headers_buffer.a
516             ("%s: %s\r\n" % (k
517
518         if keyword.lower() == 'con
519         if value.lower() == 'c
520             self.close_connect
521         elif value.lower() ==
522             self.close_connect
523
```

2. 授業紹介

こちらは各学類の特色がより感じられる授業たちです。klis, mast 関係なく受講できる授業を Pick up!

知識情報・図書館学類

知識情報概論

知識情報・図書館学類が開講する授業です。klis の学生は必修の科目となっています。

皆さんは、「知識」と「情報」の違いを意識してみたことや、考えてみたことはありますか。そもそも知識ってなんだろうと考えたことはありますか。知識情報概論は、知識の共有に関する概念についての講義です。

授業で扱う内容のほんの一部を紹介すると…「記号に与えられた役割は、事象に代わるものとして性質を意味する働きを持つことである」といったように、一度深く考えてみることで、普段の何気ない行いに知識がどう関わっているのか再認識していると感じます。

哲学的な内容でもあると思いますし、個人的・社会的を問わず、重要な内容の授業だとも言えます。興味さえ持てたらとても面白い授業だと思います。何もわからなくとも、これはとりあえず先生も面白い授業です!



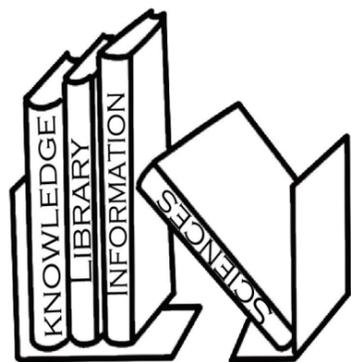
図書館概論

知識情報・図書館学類が開講する授業です。klis の選択科目のひとつです。

学類の名前にもあるように、このような図書館に関する授業も開いています。この授業は司書資格に関する必修科目の授業です。

授業内容は図書館の歴史やその機能と社会的意義、公立図書館の成立と展開、図書館の課題と展望などで、図書館の本質について学ぶことができます。

将来図書館に関わりたいという人にはもちろん受講してほしい授業ですが、そうでない人も、自分たちが普段使う図書館（筑波大学にもたくさん図書館があります）についての知識や視点を得ることはメリットになると思います。組織の成立や運営についての知識、社会での役割や組織が抱えている課題の考察は、ほかの事柄について考察する際にも役立つ大きな経験になるからです。興味の有無に関わらず、受講してみたいかがでしょうか。

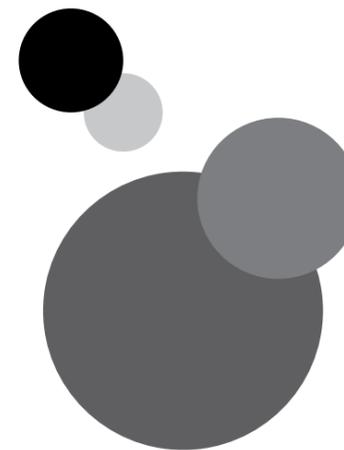


情報メディア創成学類

情報メディア入門 (A・B・C)

創成学類の先生方が毎授業入れ替わり、それぞれの専門についての基本的な説明と導入を行う科目。幅広い専門領域を持つ創成学類の話が聞けるので、自分の興味ある分野の話も聞けるはず。

以下は授業で扱うキーワード。自然言語処理、数値最適化、画像・音響データ圧縮、システム制御、コンピュータと音楽、情報可視化、人が受け取る視覚情報、知能ロボット、インターネットで情報をやり取りする仕組み、Web とメタデータ、アジリティの高いチーム開発、メディアアート、データ工学とデータベース、音響と音楽、デザイン学とデジタルコンテンツ—実に多彩。

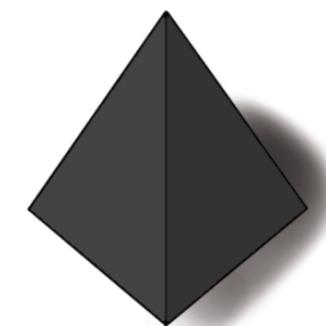


コンテンツ応用論

メディア・コンテンツ産業の潮流や社会的ニーズの理解を目指す。

第一線で活躍するクリエイター、プロデューサー、エンジニアを講師にお招きし最先端の創作活動や最新のビジネス動向を議論する（シラバス授業概要より）。

現在落合陽一先生が担当している、春日講堂で行う科目です。出席・評価はハッシュタグをつけてツイートすることによって行うというユニークな方式を採っています。講師として話題性のある人が招かれると他の学類生の人がたくさん来ることもありますが、創成学類生は優先して授業を受けられるようになっているので安心してください。



3. 主専攻紹介 (klis)

知識情報・図書館学類では、3年次に主専攻を次の3つから選択することになります。
一方情報メディア創成学類の主専攻は1つです。ここでは知識情報・図書館学類の主専攻を紹介します。

知識科学主専攻

知識科学主専攻では何をする？

「人間」に着目した研究を行う専攻です。ほかの専攻では、情報システムや、学類の名前にもある図書館についての研究を行います。知識そのものは「人間」と結び付けて考えるものであり、これから更に進んでいく情報化と関わりの深い専攻です。

ただ、研究対象がとても幅広い専攻なので、具体的には何をするのか決まっていないうのが逆に大きな特徴であるともいえます。あなたが研究したいと思ったことにしっかりと向き合い、突き詰めて取り組むことができる可能性を持つ専攻です。知識科学主専攻の過去の卒業研究を見ても面白いかもしれません。学類 Web ページの卒業論文抄録を参考にしてみてください。

過去の先輩方の卒業論文

ここでは、知識科学主専攻のイメージをつかんでいただくために、いくつかの卒業研究のタイトルを掲載しています。学類 Web ページの卒業論文抄録も参考にしてみてください。

- ・バトルマンガの実写化の比較
- ・アニメーション映画『ドラえもん』に現れた子どもたちの人間関係
- ・Twitter 使用における個人情報の漏洩を防ぐシステム
- ・若者における自撮りの文化と Instagram コミュニティへの帰属意識と「顔出し」の観点から
- ・哲学教育の意義と考察—教育に関する議論を参考に—

知識科学実習について

知識科学主専攻で必修となっている専門科目で、この主専攻の先生方がオムニバス形式で行う授業です。内容はクリティカルシンキングや量的調査と分析実習といったもので、卒業後、社会人になっても役に立つ力を身につけることができます。

知識情報システム主専攻

知識情報システム主専攻では何をする？

「情報技術」に着目した研究を行う専攻です。名前の通り、さまざまな情報のシステムについて研究することができます。特に大きな強みとして挙げられるのが、プログラミングの演習が充実していることです。1・2年次必修のプログラミング演習以外にも「データ処理と表現」や「ヒューマンインターフェース」といった授業（まだまだたくさんありますが）で情報技術について深く学んでいくことができます。言語も、必修授業で扱う「Python」以外にも、「ソフトウェア工学」で扱う「C 言語」なども選択が可能です。

また、上記のような Web プログラミング以外にも、電子図書館やデジタルライブラリについての授業も開講されているので、これらの分野に興味を持つ人も選択する専攻となっています。

過去の先輩方の卒業論文

ここでは、知識情報システム主専攻のイメージをつかんでいただくために、いくつかの卒業研究のタイトルを掲載しています。学類 Web ページの卒業論文抄録も参考にしてみてください。

- ・深層ニューラルネットワークによる Active Inference のシミュレーション
- ・Linked Data クエリ構築支援のためのグラフ構造生成系の開発
- ・文書分類タスクにおけるディープラーニングの学習プロセス可視化に関する研究
- ・知識の繋がりを意識したアーカイブ理解の促進
- ・眼球運動からみた子どもの絵本に関する嗜好

知識情報システム実習について

知識情報システム主専攻では必修の専門科目です。実習形式の講義であり、グループワークでデータベースを用いたシステムを実際に作ります。システム制作での全体を通したワークフローを、グループで実際に制作しながら学んでいくことができます。

情報資源経営主専攻

情報資源経営主専攻では何をやる？

「社会」や「情報資源」について着目した研究を行う専攻です。数年前では「情報経営・図書館主専攻」という名前でした。そこからわかるように、知識情報・図書館学類における3つの専攻の中で図書館に最も深く関わる専攻ということになりますが、これだけではありません。

この主専攻では、「社会」という観点から世の中の情報について考えていきます。図書館や、Web上に存在するデータベースなどを想像してみると、これらの情報や体系的な知識を蓄積し、保管している環境が必要不可欠であるということが分かると思います。私たちが情報を有効に活用できるのは、このような情報に関わる環境の整備を基礎とするものであり、社会の中でも重要な役割を担っています。

情報資源経営主専攻では、図書館をはじめとする情報サービス機関について、知識情報の蓄積だけでなく、提供サービスの運営や社会的制度の設定など多岐渡って学び、研究することができます。

過去の先輩方の卒業論文

ここでは、情報資源経営主専攻のイメージをつかんでいただくために、いくつかの卒業研究のタイトルを掲載しています。学類 Web ページの卒業論文抄録も参考にしてみてください。

- ・データライブラリアンに求められる能力ー北米の求人情報の分析ー
- ・企業博物館における利用促進活動と利用者意識
- ・「図書館とともだち・鎌倉」における活動の実態調査
- ・図書館経営におけるブランド戦略の分析
- ・学校司書の研修制度の在り方

情報資源経営実習について

情報資源経営主専攻で必修となっている専門科目です。学術文献のリーディングやプレゼンテーション、グループ研究といった活動を通して、図書館情報学という研究領域の全体像を理解していく授業です。自分の興味があるテーマを仲間と共有しながら研究への入り口を進むことができます。

4. ゼミ紹介

卒業にはもちろん卒業研究が必要

知識情報・図書館学類、情報メディア創成学類ともに、学生は4年次に卒業研究に取り組まなければ、大学を卒業することができません。卒業研究を行う際に、各学類の教員の研究室に入り、卒業研究のための活動を少人数で行っていくこととなります。この少人数での活動のことを「ゼミ」と呼んだりします。

いつ、研究室を選ぶ？ 研究テーマの選び方は？

klis・mast いずれも3年次の11月に研究室に配属されます。卒業研究のテーマは、研究室の指導教員が指導可能なものであればなんでも選ぶことが可能です。

研究室への所属から最終発表まで

一口に大学の「ゼミ」と言っても何をやるのかなかなか想像しにくいと思います。大学のゼミは各研究室のなかで、指導教員とそのゼミ生たちで構成されます。それぞれの研究室や先生方によって活動内容にまったく違った特色があるので、一概に説明することは難しいですが、はじめは自分の興味のある研究分野についての知識を文献などから身につけ、研究テーマが確定してからは、この中で各々の進捗を報告していきます。そして最終的には、研究の集大成として卒業論文を執筆し、最終発表を行います。

5. 合格体験記

合格した先輩はどうやって勉強していたのか？ 気になりますよね。

ここでは入試方式・各科目ごとに対策をご紹介します。これであなたも klis or mast に入学できる…！？

数学 (klis)

筑波大学の数学は全学群共通の問題から、各学群が問題を選択するかたちになっています。とりわけ klis の数学は比較的高得点を取りやすい形式と考えられます。数学が得意な人・そうでない人に関わらず、klis の前期入試は数学を大きな得点源にしたいところでしょう。

筑波大学の数学の問題は高校の教科書にそって作成されていると現役時代から感じていました。複雑で難しい問題を解決する力もちろん必要になってきますが、各単元の基礎的な考え方をおろそかにしないように取り組むことが大切だと思います。そしてそれはただ単に答えを導き出すだけでなく、日々の演習で答えの導き方を根本から理解するなど、問題に取り組む際の意識を持つことで養われていきます。

具体的な取り組みについて挙げるならば、時間を意識して取り組むという試験に合わせた演習を行うターンと、時間を意識せず考え抜く勉強を行うターンを作ることなどがあるでしょう。前者はたくさんの模試等で経験してきたことだと思います。試験のなかでどう問題に取り組むのかについては普段の勉強からしか準備できません。特にセンター試験（今年がセンター最後の年と聞いていますが）では重要になってきますね。後者に関して、klis の数学の時間配分は 120 分で 2 題と、他学類の試験と比べて余裕があります。その分、問題を解いていく上での集中力が必要です。自分がどこで問題を間違えたのかなども振り返っていき、出会った一問を大切にしてください。

数学はただ答えを出すだけでなく、答えを導き出すプロセスを見出し、適切に記述できるかが大きな勝負になると思います。時間は限られてはいますが、精一杯の努力は必ず実を結びます。頑張ってください。

数学 (mast)

夏はチャートなどの網羅系問題集をひたすら解いてました。応用的な問題を解きたくりますが、基礎を固めることに専念しました。秋には入試レベルの問題や過去問に挑戦しました。この時期ではまだまだ解けない問題が多いので、添削もしてもらったほうがいいでしょう。客観的な意見を聞くことで意外に改善点がたくさんあることに気づきます。センター前の時期にはもう一度基本的な問題を速く正確に解くことで、応用的な問題に対応できる力がついていったと思います。一般入試の直前期は、新しい問題には手を出しすぎず、今まで解いた問題を確実に解けるようにしました。

試験では、すべてを出し切るつもりで臨みました。わからない問題も、方針や予測を書いておきました。大学の先生は、分からない問題を白紙にして出す人ではなく、最後まで足掻くことができる人を欲しがっているはず。解いて手が止まる問題は周りの全員が同じように手が止まると考えて間違いないです。そこでどのような判断をするのかはそれまでの練習次第です。添削の話にも通じますが、何十人・何百人もの採点をする採点者に向けて書くということを意識しましょう。採点者は答案に書かれていない思考までは読み取ってくれないので、答案に書いたことだけがあなたが伝えられるすべてです。

受験は入試当日ではなく、入試前日までにした勉強で合否が決まります。受験当日、今まで頑張った自分を自信の糧にできるように、頑張ってください。不安になる日もあると思いますが、受験を少し楽しむような気持ちで、体調にも気をつけて、1日1日を大切に過ごしてください。良い結果になることを祈っています。

英語

英語について

英語は klis と mast で出題される問題は共通です。ありきたりな言葉ではありますが、受験期に獲得した英語の能力は大学に入ってから役に立つと断言できます。人生でもっとも知識を獲得する時期の一つなので、受験を利用して英語を勉強してしまいましょう。

単語・文法

英語は単語力が何よりもまず必要になります。筑波大の問題ではそこまで難しい単語を知っている必要はないので、「ターゲット」や「速単」など普通のレベルのものを一冊仕上げてください。単語を見て条件反射的に意味が出るくらいにはした方が良いでしょう。文法に関しては、どんな参考書を使ってもいいと思いますが、早い時期に網羅しておく強みになりますし、結果もすぐ出ます。熟語を習得しておくこと長い文章の中で構造把握が楽になります。

英文読解

読解力に関しては、英語の文章に数多く当たることが重要になってきます。筑波は 1000 語程度のやや長めの文章が出るので、それを読みきれる体力をつけておきましょう。英語は最初と最後に主張を持つてくるので、そこを最初に読んでおくなど工夫をしてみたり、英語の展開の仕方を英文を読む中で感じ取ってみたりすると読みやすくなると思います。読んだ英文を読み返すことも重要で、早いペースで読むこと、丁寧に読むことのバランスを取ってください。

自由英作文

また、筑波大では自由英作文を書かせる傾向があります。細かいことは塾や学校で教わると思いますが、型に当てはめて書くことは意外にも大事です。自由英作文は受験生の独創性を見ているのではなく、論理的な文章力と説得力のあるアイデアを見ている。過去問も参考にはできますが傾向は年々変わっているので、問題の要求に正確に答えるよう気をつけましょう。

最後に

筑波大の英語の問題だけに特化した対策は必要ありません。上記のことをしっかりこなせば着実に答えられるようになっていきます。全ての科目に通じますが、問題文をちゃんと読みましょう。気をつければ確実に点数が上がる部分です。問題の要求に正確に答えることも、能力の一つです。他の受験生の勉強が気になって、あれこれと手を出すのではなく、スタンダードな勉強を信じて、少しずつステップアップしていきましょう。

5. 合格体験記

物 理

物理は、物事の本質を考える教科です。学ぶ上で大事になっていくことは、公式とされるものを暗記ではなく本質から理解することです。まあ、理数系は大体そうですね。

本試物理の対策について

大問が3題出題され、大問1は力学、大問2は電磁気で固定されていると考えて良いでしょう。しかし、ベースが力学や電磁気でも他分野との融合問題になることもあるので注意が必要です。大問3は熱力学、波動、原子の分野から中間が1～2題出題されます。全ての大問で途中計算や考えの過程を記述する欄と答えを記述する欄が設けられています。答えが出なくても、考え方や思いついたことを書くことで加点につながると考えられます。

基本がしっかり身につけていけば問題ないでしょう。

合格に必要なこと—それは、客観的に自分を見つめて磨くことです。苦手分野の克服だけが必須ではありません。自分が得点できるところをしっかりと得点して下さい。

個人的な klis 攻略法としては、数学で稼ぎましょう。私は力学しかほぼ解けていません w

使用した問題集：「物理のエッセンス」力学・波動 / 熱・電磁気・原子

生 物

生物は暗記だけではないということは、生物受験者の方々にはもうよく分かっているはずだろう。当たり前すぎてここに書くことではないかもしれない。とくに二次試験ためには数々の記述問題に対応できる思考力を身につけなければならない。一方でセンター試験対策の時期など、ベースとなる知識量を増やさないといけない場面もあると思う。

推奨したい方法は、イメージと一緒に頭にインプットしていくよう心掛けることだ。問題集を解いて確認を行う際や模試の解きなおしをする際が一番頭に残しやすいときだろうと思う。私自身は問題を解くとき、うまく理解できていた部分とつまづいた部分を思い出しながら、問題と解説の確認を進めることで一層知識を定着させられた。また、式や言葉を図に表したり、逆に図から式や言葉に起こしたりするアウトプットの練習をしておくことも、知識の定着にとても役立つと思う。これらは問題を変えて何度も試すことが良い方法だったと思うし、私自身、何冊も問題集に取り組んだ。

記述については、上に書いたようなことの延長線上に過ぎない。取り組みに対する意識の仕方しだい君の力は伸びる。あとはひたすらやるだけだ。受験生諸君の健闘を祈っている。

化 学

筑波大学の化学の問題はかなり基本的な問題が多い。個人的に取り組んできた化学の勉強方法は

- ① 全範囲抜けなく勉強して、基本用語や計算を全部確実に網羅する
- ② その後マーク模試過去問などの化学基礎や化学で9割以上を確実にとれるようにする
- ③ 問題集に移る

私は「国立標準問題集 CanPass」という問題集を3周ほど解いた。回数に関しては個人差が出るころではあると思うが、私が伝えたいことは、あまり難しい問題をやるよりは確実にとれるものを解く、理論は計算の型を覚えて繰り返し解くということである。

有機化学は覚えないと話にならないので、基本覚えた後は、ベンゼンを基準にして自分でいろいろな化合物に変換して流れて全部の官能基を覚えた。計算問題も CanPass に網羅されている。

無機化学は用語を全部覚えたらうえて、CanPass を解けば問題ないだろう。一冊これと決めた問題集を、わからないところがあったら基本を勉強し直し、答えを見て考え方を学び、繰り返し解くのがセンター後の二次試験までの対策だった。いろいろなものに手を出してみたい気持ちはわかるが、まずは一冊を極めてほしい。そうして入試問題を解いてみれば、網羅できていない範囲はほとんどないはずである。それが全部できれば君も筑波大生だ。

地 学

どうやら地学選択者は1人もいなかったみたいです…

地学で受験を予定していたがっかりしたそのキミ!

キミが入学してこの欄を埋めるのだ!!



5. 合格体験記

世界史

正直に言います！私が世界史の2次の対策を始めたのはセンターのあとで一す！現状の結果から言うと、センター明けから始めても死ぬ気でやれば間に合います！まあ本当に死ぬ気でやったので、みなさんはそうならないように、冬休み前から並行してやっておきましょう！特に筑波大学の世界史の問題は形式が特殊なので（たくさん文字を書かれる）、準備をしっかりするに越したことはないです！

筑波大学の世界史は出題範囲がとっても広いと言われてるけど、過去問を年度ごとに見比べてみると、同じ時代や地域が出されることが多いです！つまり、2次試験の対策は過去問を中心にお勉強することが必勝法だったりするんじゃないでしょうか。ちなみにわたくしは大学の過去問は13年分を2周しました。高校に昔の赤本が置いてあったのでフル活用しましたよ。いま振り返ると、センター試験終了から二次試験までの1か月間は過去問との闘いだったなって、書いていて思い出しました。

記述の問題の対策で先生に添削などやってもらうことがあったりしますが、日本語がおかしい場合は世界史の先生じゃなくて国語の先生に指導してもらう件になると思うので、添削では記述内容の大まかな流れがOKかどうかを意識すればいいと思います！

センター試験は参考書を読みまくって、センター赤本に載っている分を全部やって、間違えた問題も馬鹿みたいに暗記しました！

世界史は大変な科目だと思いますが、この記事がみなさんの支えになればいいなと思います！頑張ってください！

日本史

筑波大学の日本史の問題はすべて記述問題です。だからといって臆する必要は全然ありません。記述問題の対策は教科書の内容を網羅しきること、これだけだと言い切ってもいいくらいです。

これに関しては日々の積み重ねが重要です。私自身、センター試験に向けて一問一答を手にして読まなかった日はなかったように思います。教科書に関しては何周も読み込み、付箋やマーカーで最終的にはぐちゃぐちゃになってしまいました。

また、やっておきたいことは、自分の力はどれくらいなのか、目標に向けてどれくらい知識が足りていないのかを確認しておくことです。そのためには大学の過去問を一度やってみることがオススメです。日本史の学習が一通り終了した今やってみてください、なかなか400字の記述は辛いものがあると思います。ここからどこまで戦える知識を入れ直せるか、これが日本史受験の大きな勝負です。

センター試験については先程書いたように、日々の積み重ねや毎回の模試をおろそかにしないことが大切です。二次試験についてはたくさん文章を書きましょう。文章構成力を鍛えるためにも赤本などでたくさん演習を行うことが大切です。筑波大学だけでなく、一橋大学などの400字記述も2次試験対策の一環として取り組むことをオススメします。

最後に一言。日本史は試験本番が迫るにつれ焦ってくる教科だと思います。しかしその逆境を楽しむくらいの気持ちで勉強を頑張ることができれば大丈夫ですよ！ファイトです。

地理

筑波大学の地理は400字記述の問題を4題、120分で解答しないといけない科目となっています。この設定はかなり厳しいものですが、戦う方法がないわけではありません。

400字ですから、出題される中でニッチなことは問われません。教科書レベルで学ぶことをどれだけ大きな幹として書いて、ほかの枝葉をどうねじれないように付けていくかが大事であると思います。1題にかけられる時間は30分ですし、本当にきついのですが、これに関しては書く練習をしていくしかないと思います。

ではその対策でどういった勉強をしていけばいいのかというと、自分が行っていたのは、ひたすら書いて高校の先生に添削していただくということでした。最初から400字書くのはとてもではないですが厳しいので、これと別の文字数が少ない記述問題から始めました。ほかの大学の過去問をやったりするのもいいと思いますが、私は「納得できる地理記述（河合塾シリーズ）」を進めていきました。筑波の過去問も並行して少しずつやっていたのですが、これに本格的に取り組み始めたのは「納得できる地理記述」をやり終わってからでした。

地理に関して間違った知識を覚えてしまったり、思い込みで勉強を進めたりすると後々ものすごく大変になるので、意識してみてください。これはセンター地理でもいえることだと思います。みなさんのご入学お待ちしております！

倫理

どうやら倫理の選択者も1年次には誰もいなかったみたいです…

倫理で受験を考えていたそのキミ！

相談会で2・3年生などに質問してみよう！！



5. 合格体験記

後期 (klis)

知識情報・図書館学類の後期入試は、センター試験と小論文となっています。

センター試験の900点は圧縮などを行わず、小論文200点との生の合計点数で評価されるため、まずはセンター試験で高得点をとっておくことが、後期入試を突破するための大きなカギになると思います。センター試験で失敗しないことが前期後期間わず、筑波大学合格に繋がっていきます。皆さんの代で最後となるセンター試験、頑張ってください。

もう少しだけ、センター試験についてお話をしますね。

センター試験は皆さんの代が最後の実施となるということで、共通テストに向けて変化していくことが想像されます。最後ですし、作成側もある意味ふざけた(思い切った)テストを作ってくるかもしれません。私たちの代もそうでしたが、いままでの過去問とは問題の出され方の形式や傾向が年々変化しています。高校などでもこのような話を聞いたことがある人は多いと思います。センター試験の赤本の問題を解いていくというのも大事な対策のひとつですが、それだけではセンター試験での高得点は難しいと思います。センター試験以外への対策(私立や国立2次の過去問)も今回のセンター試験に活きるのは間違いないでしょう。

後期の体験記ということなので、最後に小論文の対策についてお話をします。

まずは、小論文の書き方を知っているか、書くことができるかどうかを確認してください。後期試験まで小論文の試験を受けないなど、小論文を書く機会がそれまで一度もない人もいるかもしれません。対策としては、予備校や学校で小論文講座を行っている場合はそれに参加して学んでいくことをおすすめします。残された時間が限られている人に関しては、小論文の書き方の本を手に入れて読むことなども考えられますが、小論文の問題集を購入して、解説を参考に記述しながら小論文にまず慣れるというのもひとつの手です。

小論文の本にはテーマごとにカテゴリ化されているものがあります。そのなかでも情報関係のテーマをよく読んでおくことをおすすめしたいのですが、実際の試験では他の分野の知識があると楽になることがとても多いので、様々な種類の文章を読んでおくこともおすすめします。

また、後期試験の小論文演習については、市販の過去問では3年分しか問題がありません。klisの問題だけでなく、mastをはじめとした他の学類の問題を解いてみるのも良い演習になると思います。

皆さんの受験が悔いのないものになることを願っています。頑張ってください。

後期 (mast)

さて、合格体験記とは言うものの一体何を書けば良いのやら……。締め切り前日(当日の深夜)にキーボードを叩きつつそう考える。正直この合格体験記が誰かの役に立つのか疑問ではあるが、締め切りに追われる私を憐れむ気持ちがあれば、一応最後まで読んで頂けるとありがたい。今、君がこれを読んでいるということは、君はmastに興味がある、更に言えばmastの後期試験を受ける可能性があるということだろう。まあ試験内容などはスマートフォンでググって頂ければそれで充分なのでここでは割愛するが、一応全く知らない人のために言うておくと、mastの後期試験は小論文だ。正直私は後期試験のために何か特別な対策をしたわけではないので、試験に関して具体的なアドバイスはできない事を初めに言うておく。「ふざけるな!俺はここでしか聞けないようなアドバイスを期待していたのに!」という方には申し訳ないが、それは私を抜擢したK氏に言うて頂きたい。

さて、前置きの字数稼ぎもほどほどに、本題に移ろう。まあやはり合格体験記と言えば私の受験生時代の話をするのが一番良いだろうと思われるため、私もその常識に則ることとする。私は高校時代を「君〇名は。」のモデルになったとかなってないと言われる学校で過ごした。もうこの時点でピーンと来る人もいるかもしれないが、私の高校は比較的厳しめの学校で、受験ということに関してはそれは例外ではなかった。授業では多くの課題が課され、夏休みや放課後にも多くの補講が実施されていた。これを好ましく思う人もいるのかもしれないが、私はその空気が嫌だった。うるせえ、お前らに指図されたくねえ、俺の自由にやらせろ!毎日そう考えながら過ごしていた。実際、受験直前になり、学校がなくなって寧ろストレスが減ったのも事実であった。

受験生、と言うと君はどんなイメージを持つだろうか?君が受験生ならば今は必死に勉強している頃だろうし、君が受験生でなかったとしても、受験生になったら大変だろうなあという想像は容易いものだろう。事実、受験生は多忙を極める。今私が過去の私を思い返しても、もう二度とあの時間を繰り返したいとは思わない。だがしかし、私が声を大にして言いたいこと、そしてこの合格体験記で最も伝えたいことは、君に不安にならないでほしいということだ。とにかくポジティブに、前向きに。たまには休息を取ったっていいじゃないか。模試の結果が悪い?模試は模試。本番じゃないのだ。私は受験期の夏にも普通にゲームをしていたし、何ならセンター試験1か月前に発売されたスマ○ラを発売日に買って遊んでいた。夏のセンター模試では全く問題が解けず、試験時間の半分ぐらい落書きしていたし、正月三が日は塾が休みなのを良いことに一日中寝ていた。挙句の果てにはセンター試験の現代社会にノー勉で臨むという暴挙にまで出た。流石にこれを真似されて受験に失敗されても困ってしまうのだが、これだけふざけた奴でも受かってしまえば俺の勝ち!である。何だ、勉強しなくても筑波大受かった俺スゲーアピールかよ、と思ったその君。多少の自慢が入っていることを否定はしないが、私が言いたいのは結局のところ受験なんて受かってしまえばそれで良いのだということである。必要以上に自分を追い込む必要はない。勿論努力を否定しているわけではない。だが、あまりに無理をしすぎて体や心を壊すなどということにはなって欲しくない。簡単ではあるが、これが私から君に伝えられる最大限のアドバイスだ。無理をせず、マイペースに。それさえ伝われば私が睡眠時間を削って書いたこの合格体験記も報われようというものだ。

それでは君の合格を祈って。

5. 合格体験記

AC (klis)

受験の動機

高校生が終わるまでまったくといっていいほど勉強をこななかった自分がいたため、受験に関してははじめからAO・AC狙いという感じでした。

AC 試験の特徴

筑波大学は歴史的背景から考えても、かなり研究に力を入れている大学です。近くに研究学園都市がありますし、筑波大学もその一翼を担っています。ACの要項にも「ACのための研究ではなく自分の興味としての研究」と書かれています。それほど、自分がどんなことを研究して、どう考えてきたのかが重視される入試なのではないでしょうか。自分の熱意を猛烈にアピールしてみてください。

一次試験

一次試験は書類選考で、志望理由書と自己推薦書を作成します。自己アピールと自分の研究への熱意を伝えようとした結果、自己推薦書の分量が圧倒的に多くなりましたが、これは歴代の先輩たちも同じだったようですし、当たり前のことかなと思います。とにかく研究、研究、とアピールをしました。

二次試験

試験当日までは、とにかく自分の作成した資料を読み返したり、想定問答を作ったりしていました。

当日は、klisの教授2人とACの教授1人の試験官3人による面接でした。

試験は本来ならば、5分で自己推薦書の要約を行うというものなのですが、自分は止められるまで、15分以上も話してしまったと思います。それほどまでには熱がありましたし、教授方にもそれが伝わってくれたのかなとも思います。その後は延々と終わるまで研究のことについて聞かれたりしました。

緊張はしていましたが、なんだかんだ自分の書いたものが評価され、教授方と話すことができたのは楽しかったです。

最後に、個人的必読書として「図書館情報学を学ぶ人のために」をお勧めします。この学類を受けるにあたって、図書館情報学とはなにかを知ることができました。

諦めずに最後までやってよかったと本当に思います。AC入試は楽しんだもの勝ちです！

AC (mast)

受験のきっかけ

筑波大学のAC入試を知ったのは、高2の時の担任の先生から「私の教え子の中で、筑波のAC入試で合格した生徒がいる」という話を聞いた時です。AC入試（他大学ではAO入試ともいう）は、筑波大学だけではなく複数の大学で実施していますが、私が具体的に筑波大学のAC入試を受験しようと考えたのは、高3の4月ごろです。AC入試の自由度の高さに魅力を感じて受験しました。

中高生時代の過ごし方

私は、中学校と高校が一体となった中等教育学校に通っていました。中等教育学校の高等部では、2年間かけて個人研究をするという総合学習の時間がありました。1人1人がテーマを決めて研究をし、最終的に論文に仕上げるといって、その研究を使ってコンクールに応募する者もいました。私自身は高2の時に東京都主催の「科学の祭典」という研究発表会に出させていただきました。コンペではなかったのですが、これといった受賞経験はありませんが、この時の論文を利用してAC入試を受験しました。

研究以外では、体育祭や文化祭の実行委員会に所属し、パソコン等を用いて委員会活動のサポートをしていました。部活動は、6年間通して科学部に所属し、地学分野に興味があった私は、竜巻発生装置や地震計の製作に取り組みました。

試験対策

AC入試の一番の魅力は、一次選考の自由度の高さにあると考えています。書類選考による試験ですが、自由度の高さは募集要綱を見れば一目瞭然だと思います。募集要綱を見ると、形式等の事務的な規定がほとんどで、内容についての指定や制限はありません。自由であるがゆえに具体的なアドバイスはできませんが、私は「与えられた自由をどのように解釈し、その解釈をもとにどのように表現するか」がこの試験を勝ち抜くための最大のポイントだと思います。自由を活かした独創的な発想が求められているのです。その解釈を手助けしてくれる唯一の資料は「募集要綱」です。アドミッションポリシーや募集要綱をよく読みこみ、今までの自分の力をすべて使って試験員の印象に残るものを作りだして、最後まで「自由」に向き合えた人が通過できると思います。

続いて、二次選考は面接による試験です。こちらは一次選考と違い、筑波大学の先生方が指定した質問にうまくはめ込むことができるかどうか焦点の試験です。自分がどういう人間かをアピールでき、志望動機や入学して何をしたいかを簡潔に述べられるよう、練習してください。緊張もしますが、練習を重ねれば大丈夫。本番は、練習したという自己満足感が自信に変わると思います。私は、学校の進路の先生に付き合っていた練習を積みました。

最後に

AC入試は、どの試験と比べても非常に倍率が高いため、一般入試等の他の受験方式も視野に入れておくとう安心です。ただし、AC入試は生半可な気持ちでは合格できないというジレンマもある気がします。私自身も受験期は、そのジレンマに振り回されてしまいました。AC入試の受験を検討している人は、配分をよく考えて計画的に取り組むことをおすすめします。試験を突破して、筑波大学で楽しいキャンパスライフを！

推薦 (klis)

klisの推薦入試体系は去年大幅に変わりました。推薦入試の合格人数の増加、面接がビブリオバトルになるなど、ものすごく変更がありました。特にビブリオバトルについては戸惑う人も多いかと思います、見方を変えればこれもチャンスだと思います。

推薦入試を受けたきっかけ

私は高校2年生の夏休み前からklisへの進学を希望していました。はじめは前期入試と後期入試を受けることを考えていましたが、3年の10月にチャンスが増えるなら推薦も受けようと思い、10月末からの1か月で推薦入試の対策を行いました。一般入試やセンターの試験対策も並行して行いながらだったので、やることを最初に決め切っしまい、あとはそれだけをやるようにしました。

入試当日

私は住んでいる家から直接大学に向かいました。電車で揺られている間はずっと英単語帳を読んでいました。気休め程度にはなったのではないかなと思います。

試験は小論文、ビブリオバトルの順で行われました。小論文に関してはまず、英語の方から解きました。これは英語を先に解いてしまってから、日本語の文章題をじっくりやるという作戦です。まあ、急ぎすぎたのか、試験時間90分のうち、60分くらいですべて終わってしまいました。時間の余裕は少しぐらいあると思うので、推敲や見直しを大切に。私はこれに助けられたのだと思います。いろいろ修正しました。

ビブリオバトルは6人1組で行いました。試験監督の先生方は、司会進行のみに留まり、受験生同士で本の紹介、質疑応答を行いました。小論文終了からすぐ実施する組もあれば、数時間待つ組もあったので、集中を切らさずにいることとリラックスしておくことが大事だと思います。そのおかげもあって、私はビブリオバトルを楽しむことができ、最高のパフォーマンスを発揮することができたと思います。多分、ビブリオバトルのおかげで合格したのでしょう。

対策

小論文に関しては、高校の先生が持っていた課題型小論文の参考書から一冊を選び、文章を書いて添削してもらうという形で練習しました。先生のお話がのちのち活きてくるので、日本語英語問わず、添削してもらうことをお勧めします。題材についてはまんべんなくやりました。klisの小論文はそれぐらいがいいと思います。あとは過去問をやるだけやりました。これも添削してもらい、背景知識をお話してもらうようにしました。

ビブリオバトルについては、自分の熱意をどれくらいぶつけられるかだと思います。自分は今までビブリオバトルを経験したことがなかったのですが、自分が今までに読んだ本の中で一番強く思い入れのある本を選択しました。そのほうが堂々とプレゼンテーションを行えると思います。また、取り組みで意識したのは、原稿作成段階で伝わりにくい部分をなくした文章を作ることです。これによって、プレゼンテーションでの戦いやすさは変わってくると思います。

klisの推薦入試はどれだけ自分が興味関心のあることをプレゼンテーションできるかどうかが勝負です。皆さんが今までに培ってきたものを出し切ってください！応援しています！

推薦 (mast)

推薦入試を受けたきっかけ

私がこの学類に推薦で入ろうと思ったきっかけは、早く受験を終わらせてバイトやプログラミングの勉強、旅など自分のやりたいことに専念したいから、というものでした。もともと一般入試も考えていたのですが、そもそも自分は受験勉強に意味を見出せないけど大学にはとても行きたいと思っていたので、その思いを伝えて入学できるなら…と推薦方式を使いました。高校の文化祭などで映像作品を作っていたこともあって、アピールする部分はあったので挑戦するだけしてみようと思いました。

入試当日

もうここを読んでいる皆さんなら既に知っているとは思いますが、改めていうと、mastの推薦入試は小論文と面接(口頭試問あり)の2つです。

小論文では、解答用紙と下書きがホチキス留めされた紙と、別に問題が配られます。問題用紙は左上留めになっていて問題文と設問の行き来が大変なので、自分は問題用紙に折り目をつけるなどしてめくりやすいようにしておきました。解答用紙のホチキスを自分で外してから名前と番号をすべてに書きます。そのままあまり猶予なく試験が始まるので気をつけてください。注意事項はとても大事です。読む時間はないかもしれませんが、ここは一度落ち着いてゆっくり読んでから始めた方がいいと思います。実際の感触として、下書きをする時間はほとんどありません。周りの人たちですべて書き切れていない人は意外とたくさんいました。自分は始めから本書きし、書き直したいところの文字数を合わせるためだけに下書き用紙を使いました。時間のアナウンスは5分前と終了時のみです。机の大きさや教室の大きさは一般的な教室と変わりありません。

面接では、口頭試問とはありますが、問題が2つ書かれた紙が一枚あり、そこから1題を選んで目の前で5分程度で解いたのちに解答の説明をする形でした(鉛筆が二本と計算用紙、そしてホワイトボードがある)。面接は一般的な面接を想像してもらえばいいと思います。面接までの間は、受験番号下2桁が大きい数字だと長時間待たされます。目安としては、下2桁で3人ごとに×5分くらいです。先生がずっといるので音楽などは聴けません。あと、試験会場のお手洗いは綺麗で匂いも気にならないです。

ただ、全て私の時の話ですので、方式が異なる可能性もありますから注意してください。

対策

対策として私はとにかく色々な小論文を解いて先生に添削していただいていた。小論文のうちひとつは英語による数学の出題です。数学の勉強はセンターレベルで大丈夫かと思いますが、英語はきちんと勉強が必要になるでしょう。ただ、数学用語などの英単語はそれほど必要になることはないと思われます(だいたい注釈がついている)。

筑波大学はとてもいいところだと、時間が経った今でも感じます。是非、頑張ってみてください！

6. 生活体験記

筑波大生はその多くが茨城県外からやってきます。そのため一人暮らしをする学生も多く、そのための施設も多いです。その暮らしぶりをうかがってみましょう。

春日学生宿舎

筑波大学の5つの宿舎の内の1つ、その中でちょっと特殊なグローバルビレッジを抜いた4宿舎の中ではおそらく最もいい寮である(と私は信じている)春日宿舎について紹介していきます。

春日宿舎はその名の通り春日エリアにある宿舎です。klisとmastの学生が主な住人で、それ以外には医学系の学類生も少しいます。建物は5階建てで、男子寮(2号棟)と女子寮(1号棟)、そして留学生寮(3号棟)があります。男子寮と女子寮は隣接していて、留学生寮はエリアの反対側の離れた場所にあります。玄関はオートロックです。

続いて寮の中について。1階当たりに部屋はだいたい15部屋くらい(うろ覚えです、すいません)。両端にトイレと補食室がそれぞれ片方ずつあります。補食室というのは洗濯機とキッチンがあるところで、1回100円の洗濯機が2つ、30分100円のガス乾燥機が1つあります。洗濯機の所要時間はだいたい40~50分くらいかと。38分と表示されますがどうにも時間の流れが違うようでそのくらいかかります。キッチンにはガスコンロが2口×2あり、2つの2口コンロの間にはシンクがあります。シンクは反対側にも大きいものが1つ。シンクには水道とガス給湯器がどちらにもついています。長机もあります。トイレは全部個室で3つです。

ではいよいよ住む部屋について話しましょう。広さはだいたい5.5畳(だった気がします)。机、いす、ベッドが備え付けです。狭いと思うかもしれませんが、意外とそうでもありません。私の部屋はベッドが一番奥に横向きであり、左サイドに奥から机、3段ボックス(縦)と冷蔵庫があり、右サイドにテレビon 3段ボックス(横)、3段ボックス(縦)と並べていますが、一人で生活するのに十分な広さがあります。部屋にカーテンはありません。自前での用意が必要です(窓の寸法が特殊なので、オープンキャンパスなどの公開時に測っておくことをおすすめします)。あと部屋に水道はありません。これはちょっと不便。エアコンはリースが可能です。近年ちょっと暑さが異常なので付けることをお勧めします。ただし、暖房に関しては集中管理のものが備え付けられています。まだ体験してないので何とも言えませんが、聞いた話だと結構強いそうで暑いくらいだとか。ベッドですが、シーツ、枕カバー、布団カバーが貸し出されます。また、月に何度か交換できるので自分で洗う必要はありません。さてここからが春日宿舎の最大の強み。全室にベランダがあります。もちろん洗濯物も干せる。そして何より共用の風呂があります。しかも無料です。これは春日だけです。風呂は17:00~22:00で、もし過ぎてしまっても9分100円のコインシャワーがあります。風呂は隔日でお湯が張られます。張ってない日も浴室内のシャワーは使えます。

他にもいろいろ書きたいことがあるのですが、残念ながら数字的にこのくらいになります。ただ1つだけ注意を。ネットで春日宿舎のことを調べると、(春日に限らずグロビ以外の宿舎も)結構酷評されていると思います。汚いとか。ですが、筑波大学の宿舎はすべて数年前に改装工事を行っているためかなり改善しました(少なくとも春日は特に気になりません)。ネットの記事は改装工事前の物が多いので、そこだけご注意ください。こちらのページは参考になると思います。それでは。

<https://magazine.mast.tsukuba.ac.jp/archives/569>

アパート

アパートの魅力

アパートは、一人暮らしする人にとっては広いです。だいたい7~9畳くらいの広さの人が多いです。スペースを有効的に使うことができるので、テレビ・コンピュータ・スクリーンとかを置きたい人には良いと思います。

当然といえばそうですが、アパートにはキッチン・シャワー・トイレがあります。特に、自炊を頑張りたい人には自分のキッチンがあるのは結構嬉しいと思います。

そして、アパート民は人を家に呼ぶことができます。10人くらいで集まってたこ焼きパーティーできるくらいには割と入ります。一人で寂しい人は、自宅通学の人や宿舎の人を泊めてあげることもできます。掃除して綺麗にしてあると喜ばれます。

どうやって決めたか

アパートは受験が終わったら早めに決めた方がいいかもしれません。安く便利な場所は人気が高いです。僕は実際につくばまで行って不動産屋と一緒に見て決めました。つくばは土地が安く、家賃は4~5万の人が多い印象ですが、家賃6万くらいならかなり満足できると思います。

立地

春日エリアに近いアパートに住んでいる人が多いです。僕たちの代からカリキュラムが変更され、春学期は春日エリアでの授業が週一しかないという状況で、毎日の移動が大変でした。しかし、2年生から徐々に春日エリアでの授業が増えてくるはずなので、やはりこの周辺が良いのではないのでしょうか。

スーパーの場所、コンビニ、飲食店の場所を少し考慮しても良いかもしれません。つくば市内、特に大学周辺には美味しい店が多いです。

最後に

住んでいて不便だと感じたことはほとんどないくらいアパートは魅力的です。宿舎に比べて、家賃が高い・交流が少ないというデメリットもありますが、居心地の良さを活かしてテスト前に人を呼んで勉強会したり、ゲーム会したりして楽しめばかなり充実してくると思います。

Global Village

Global Village、通称グロビ。この宿舎は築2年という綺麗さに加え、春日宿舎に比べて本学に近く、日本では珍しいシェアハウス型の宿舎である。ここでは、居住環境、立地、同居人の3つのトピックについて説明する。

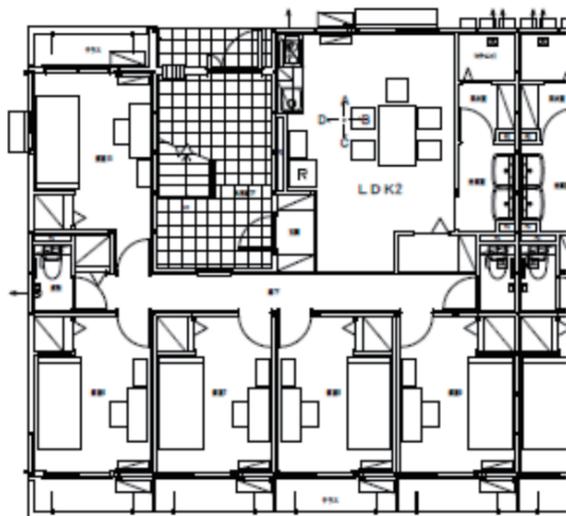
まず居住環境についてだが、非常に良いと言っている。建てられたのが最近なので部屋の汚れもなく、外見も筑波大一綺麗である。備え付けの家具も充実しており、エアコンや姿見がデフォルトでついているのはここらいた。また、ユニットの共用スペース（テーブルがある場所）には2口のIHヒーター、冷蔵庫、レンジがあるのも嬉しい。玄関には大きな靴棚もある。

次に立地。エリアとしては平砂宿舎と同じだが、その裏にあるため初見では見つけられない秘境の地となっている。場所がわからずに卒業する先輩もいるらしい。春日宿舎より本学に近く、特にカスミ筑波大学店（一人暮らしの学生向けのスーパー。卵は1パック100円）がすぐそばにあるのが有り難い。1年次は本学での授業が多いのでとても便利である反面、同じ春日の学類の人が少ないのが少々難点か。

最後のトピックは同居人についてだ。グロビは4～5人で1ユニットが構成されており、その中の1～2人は必ず留学生である。しかし会話は全て日本語で行われる。なぜか。彼らはシェアハウスはコミュニケーションが重要な環境だということを想定して日本語を練習してくるのである。留学生の割合も想定より少ないのが現状で、もはやJapanese Villageである。留学生に院生が多い関係もあって、各々の学年も生活リズムもバラバラである。そのためユニットメンバーの関わりは少なく、食事当番を決めて一緒にご飯を食べるような光景は幻想である。正直学年を合わせてくれた方が絶対に面白い。

終わりになるが、グロビに来ない方がいい人を紹介しておく。それは他人の尻拭いをするのが嫌な人、仕切り屋、そしてコミュ障である。理由はお察しの通り。それ以外にも、ここに書けないようなことはTwitter #グロビの闇で検索検索ッ！ぜひ抽選を勝ち抜いてグロビの春日率を上げるのに貢献してほしい。

【Global Villageの間取り】



自宅通学

筑波大学生の多くは宿舎・アパート住みですが、わずかながら自宅から「宅通」をする人も存在しています。

その中の一人で、千葉県内の自宅から電車で1時間半ほどかけて通学している筆者が、受験終了・入学後3か月で経験した、感じたことについてお伝えしたいと思います。

（以下、自宅通学者を「宅通の民」宿舎・アパート住みの人を「宿舎・アパートの民」とします。）

4月

宅通の予定があったため、入学式までたっぷりと時間がありました。しかしながら入学して早々、「つくばで乗る自転車がないこと」と「先に引っ越してきていた宿舎・アパートの民同士の仲が良い」という2つのトラブルに遭遇。また、電車で帰らなくてはいけない都合上、サークル見学も長い時間はできませんでした。そんな中でも、新たな環境でタバタしていても大学生活のこだけ考えていられた、というところは宅通の強みであったと思います。

5月

ゴールデンウィークはとにかく自由！故郷に帰る必要もないし、大学に行く必要もないため、おそらく宿舎・アパート住みの人たちより多くの自由時間が持てます！地元でバイトを始めるもよし、地元の友達と遊ぶもよし。もちろん、筑波まで行って筑波大生の友達と時間を過ごすという選択肢もアリです。

5月の終わりには1年生主体で行われる「やどかり祭」が催され、宅通の民であれど準備のため駆り出されます。自由時間が奪われるだけかと思いきや、準備や本番を通して、様々な人と知り合うことができ、宅通の民にとってありがたい時間でした。

6月

梅雨が始まってしまった…。電車やバスは混みあい、宅通の民は時間的・空間的トラブルを抱えることに…。ストレス発散を求めて帰りに途中下車して遊ぶことを覚えたのもこの頃です。というのも、6月は大きなイベントがあるわけでもなく、宿舎・アパートの民と遅くまで遊ぶ余裕も生まれます。私は余裕ができたこの時期に、満足にできなかったサークル見学もできました。

このように、宅通には時間的制約があったりするなど不便な部分もありますが、反面、つくば市の外でも自由な行動がとれるというメリットもあります。大学に慣れるまでは宅通をして、途中から一人暮らしをするというような事もできるので、比較的大学の近くに住んでいる方は是非宅通も視野に入れつつ、一人暮らしと比べてみてください。

7. 学校行事紹介

筑波大学での1年を特徴的なイベントから見てみましょう！！
他にはないイベントがちらほら…！？



入学式

大学会館で2回に分けて行われる。プロの歌手を招いて歌うメッセージソング"IMAGINE THE FUTURE"は必聴。

夏休み

なんと2ヶ月もある！やりたいこと、好きなことを追求する時間にしよう。

スポーツデー

筑波大の運動会。各種スポーツやミニゲームが楽しめる。春にもある。

卒業式

大学最後の晴れ舞台。袴を着る学生も多数見られ、会場が賑わう。

新歓本祭

サークルの勧誘が一斉に始まる。気になるサークルはここでチェック！

やどかり祭

1年生が主体のお祭り。目玉はゆかたとパフォーマンスのミスコン「ゆかコン」。

雙峰祭

3日間かけて行われる、筑波大の学園祭。ステージや模擬店、何もかもが大規模。

春休み

冬休みが短い代わりに、春休みも2ヶ月と長い。有意義に過ごそう。

ABCって？

大学では単位を修得すると進級・卒業ができます。授業は1コマ75分で行われます。夏休みを挟んで1年に春学期と秋学期があり、さらにそれぞれABCの3つのモジュールに分かれています。1つのモジュールは5週間です。授業にはABモジュールを通して10回行われるものと、ABCモジュールを通して15回行われるものがあります。基本的には週1コマ×10回で1.0単位、週1コマ×15回で1.5単位を修得できます。klisやmastの授業はほとんどABモジュールで終了しますが、他の学類にはCモジュールまで行われる授業も多くあります。そのため、他の学類が授業を受けているCモジュールの間、比較的有意義に時間を活用することができます。

春日豆知識

春日エリアに限らず、筑波大生には自転車が必要とされています。特に、春日エリアの学生は天王台エリア(本学)の人よりも重宝します。天王台～春日間を休み時間のうちに移動する、「エクストリーム移動」(通称エクストリーム)を行うことがあるからです。受講する授業がさっきまでは春日エリアだったのに、次の授業は天王台エリア…なんてことが起こってしまうことも。こうなると、15分で次の授業場所に行かなければなりません。もちろん、授業が定刻に終わらないこともあれば、信号にひっかかってしまうこともしばしば。こうなると次の授業には遅れてしまうかも…！？

8. Q&Aコーナー

大学という新たな場での新生活。こんな時、不安はつきものですね。ここでは少しでも皆さんの参考になるよう、今の1年生が受験時や入学前後に感じた素朴な疑問とその答えをご紹介します！

Q. klis 志望ですが数学苦手なんですけど大丈夫ですか？

入試に関しては、数学を取らずに受けることも可能ですし、数学を取るにしても klis の場合 120 分で2問解けばいいので楽ではあります。入学後は情報系に必要な数学が必修となっていますが、受験のように複雑ではなく初めて習う内容なので、授業をちゃんと聞けば大丈夫だと思います。もちろん、意欲があれば追加で数学科目を取ることも可能です。

Q. 第二外国語は必修ですか？

klis は昨年度まで必修でしたが、今年度は mast と同じく自由科目になりました。取っても取らなくても大丈夫です。また、さまざまな言語の授業が開設されているので、興味のある言語を選べると思います。

Q. 筑波大学の周辺施設について教えてください

klis・mast の人ならスーパー、コンビニには困らないと思います。カラオケもあります。特につくばは美味しい飲食店が多く、色んなところがあって楽しいです。イベントなどに行きたいのであれば、東京に出るのがおすすめです。つくば市は研究学園都市ということもあり、さまざまな研究施設が数多く集中しているのも特徴の一つです。

Q. 大学は広そうですが、自転車の移動はどれくらいですか？

1年生のうちは、春日宿舎（もしくはその周辺）から15分くらいで着く本学での授業が多いと思います。授業の組み方によっては休み時間15分の間に移動しなければいけないこともあり、大変ですが、先生も考慮してくれるので大丈夫です。1ヶ月もすれば慣れて10分くらいで移動できるようになります。

Q. 自転車で移動することが多いとのことですが、雨の日はどうしてますか？

雨の日はレインコートを着て自転車で通学する人と、バスで行く人とで1:1くらいな感じです。雨の日はバスが混んでよく時間に遅れてしまいますが、早めに行動すればなんとかなります。

Q. 大学に入れば彼氏（彼女）ができるって聞いたんですけど本当ですか？

頑張ればできます。大切な人を見つけられるといいですね。

Q. 大学の時間割を教えてください。

1限から6限までで、1限は8:40からで6限が終わるのは18:00です。1コマ75分で休み時間は15分です。1年の最初の時期は忙しく一日中授業があることもありますが、春秋C学期などは空きコマが増えて余裕が出てきます。

Q. サークルの活動について教えてください。

所属していない人もいれば、複数兼サしてる人もいます。部活とは違ってサークルは楽しむことがメインなので、厳しいものではありません。サークルの雰囲気は、新歓期に色々遊びに行ってみることで感じると思います。他大学と交流しているサークルもあります。部活に入ったら、情熱的にスポーツに打ち込めると思います。

Q. 筑波大学に入ってよかったことを教えてください。

僕は mast ですが、1年生のうちから自分のやりたいことをかなり自由にやらせてもらっています。他学類の授業も受けることができるので、文系の興味ある分野も学ぶことができます。それに、学生の間で頻繁に交流するので仲が深まるのが早く、人が多いので本当に色々な人と関わりを持てます。施設も整っていて、図書館や計算機室、クリエイティブメディアラボ、創房など、やりたいことをするための環境が充実しています。

Q. 受験期のモチベーションの保ち方は？

- ① やればやるほど後々の勉強がどんどん楽になると考える
 - ② 自分が頑張ることによって自分以外の人、例えば家族や友人などが喜んでくれると考える
 - ③ 無理のない目標設定をする
- 勉強せずに遊んでしまった日は、自分を責めるのではなく、まっすぐ受け止めてあげてください。

Q. 受験期にやらかしたことを教えてください

私立の当日にインフルエンザにかかった人もいるみたいなので、体調管理には気をつけましょう。高3は体も強いし、対策していればかかることはないので安心してください。

センター1日目に採点するのはやめましょう。結果が良くても悪くても次の日に影響します…。次の日に備えて早めに寝ましょう。

Q. 大学は人生の夏休みと言いますが大学生は暇ですか？

筑波大生は自分のやりたいこと見つけてサークル・部活・活動に勤しんでる人が多い印象です。自分の時間をどう使うかが完全に任されているので、その点に関してはかなり自由です。大学生は人生の夏休みというよりも、人生でもっとも価値のある時間だと思っています。

Q. 遠方出身なのですが、入試前日はどう過ごしましたか？

愛知から受験しましたが、前日に大学最寄りのつくば駅からひとつ離れた駅前のホテルに泊まりました。ホテルではリラックスしながら見直しを2時間程度していつも通りの時間に寝ました。気になる人は加湿器など動かした方がいいと思います。よく眠れないのは当たり前なので安心してください(笑)。当日は頭が冴えて実力が出せます。

Q. サークル以外の学生組織ってどんなものがありますか？

まず、全学学類・専門学群代表者会議、通称「全代会」と呼ばれる組織が活動しています。中学、高校でいう生徒会みたいなものです。各学群の各クラス代表から3人、全代会に参加する人を選出します。

全代会では様々な議題を取り扱い、ものによっては大学に対しての申請を行ったりもします。また、学生生活の問題解決に向け、各委員会における委員会活動を行っています。

ほかにも、学園祭実行委員会といった組織たちが、学校行事の企画運営を行っています。

他にもいろいろな質問があると思います。ぜひ筑波大学の学生に直接聞いてみてください!!! Twitter などでも優しい筑波大生は反応してくれるかも……?

かすがらいふ 2019年度夏号

2019年8月発行

| | | |
|----------------|---|----------------------------|
| 発行者 | 筑波大学 | 知識情報・図書館学類長 情報メディア創成学類長 |
| 編集委員 | (省略) | |
| 特別寄稿 | 歳森 敦 先生 (知識情報・図書館学類長) 河辺 徹 先生 (情報メディア創成学類長) | |
| 寄稿・原稿協力 | (省略) | |
| 表紙 | (省略) | |
| Special Thanks | 知識情報・図書館学類の教職員の皆様 情報メディア創成学類の教職員の皆様 図書館情報エリア支援室の皆様 春日地区クラス代表者会議 2018年度夏号編集委員長 過去のかすがらいふ編集委員の皆様 その他、ご協力いただいたすべての皆様 | |

